

2022.12

No. 30

工
藝

事務局（地独）京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター（担当：松原 竹浪）

kyotonokogei@tc-kyoto.or.jp

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 91

Tel 075-326-6100（代表） Fax 075-326-6200（事務局）

京都工芸研究会便り

1. コラボ製品開発事業「こうげい組体操」募集説明会 & 2022年東京ギフトショー 現地視察報告会 開催のお知らせ

昨年度より準備を進めておりましたコラボ製品開発事業「こうげい組体操」が、1月より本格始動いたします。つきましては、1月20日にzoomにて「オンライン説明会」と「2022年東京ギフトショーの現地視察報告会」を開催します。東京の見本市の最新情報もご提供しますので、組体操へのご参加をご検討されている方はもちろん「とりあえず聞くだけ」「視察報告会を見るだけ」でも結構ですので、ぜひご視聴よろしくお願ひします（視聴＝参加強制ではありません）。

こうげい組体操とは

概要 工芸研究会の異業種が、技術や素材などのコラボレーションで新商品を開発する事業。
ねらい 異業種交流を活性化させてお互いの理解を深め、ものづくりの可能性を広げる。
テーマ 「コラボレーション」自体がテーマ。制作物に規定はありません。コラボ相手との相乗効果が発揮できる製品を！

2024年3月の見本市出展を目指します！



非会員とのコラボもOK！

「こうげい組体操」では、将来の新規会員を増やすという考えから、工芸研究会の会員さん以外とのコラボも可能としました！

工芸研究会には無い業種ともものづくりをしてみたい、仲の良い方（非会員）と一緒に取り組みたい、新しい刺激がほしい、etc... 大歓迎です！ぜひ、非会員の方も説明会にお誘いください。

たとえばこんな疑問には……

Q. コラボ相手がないのですが……

A. 応募はおひとりさまでもOK！事業企画チームがマッチングをサポートします。

Q. 何を創るか、まだ決まっていないのですが……

A. コラボ相手とミーティングしてから決めてOKです！

Q. 工芸研究会外とコラボしてみたいけど、相手が見つからない……

A. ご希望の業種がありましたら、事業企画チームがマッチングをサポートします。



こうげい組体操 オンライン説明会 & ギフトショー視察報告会

日時：2023年1月20日（金） 10：30～12：00

場所：オンライン（zoom）

ミーティングID：812 2013 0962 パスコード：624777

※アクセス方法がわからない方はお問合せください。

075-326-6100 担当：松原・竹浪

2. 事業企画チーム「ロング・インタビュー」第二回・三回を公開しました!

事業企画チームではベテランの会員さんに、工芸の技術・素材・道具だけでなく、今までのあゆみについてじっくりとお話を伺う「ロング・インタビュー」を行っております。第一回の小川進様に続き、第二回は京人形師・片岡行雄様、第三回は竹工芸・大塚正洋様を特集いたしました。若い頃のエピソードや工芸への熱い想いを語っていただいた保存版です、誌面には抜粋を掲載いたしますので、続きはテキストサイト「note」をご覧ください!

第二回：片岡行雄様（京人形）



編：片岡さんの作品からは、戦争の恐ろしさや平和を愛する気持ちが伝わってくるような気がします。この作風は、初期から確立されていたのですか？

片岡：いえいえ、自分にとってまず第一だったのは「生活」でした。戦争を経験した者としては、なによりも生きることを考えるものです。戦時中は市役所からしょっちゅうサイレンが鳴って怖かったです。(中略)だからまず「生きていく」こと、これが一番です。

人形作りでも、五月人形やひな人形なども多く作って、食べてゆくことに精一杯でした。(中略)昔は「職人」というのは大切にされなかった。かといって、自分は「作家」とも違うと感じる。だから僕は自分を、工芸を全うする者として「工人(こうじん)」と呼んでいます。(後略)

続きはテキストサイト「note」をご覧ください!

「note 京都工芸研究会」で検索 または右のQRコードにて



第二回



第三回

第三回：大塚正洋様（竹工芸）



大塚：子供の頃から常に生活の中に竹がありました。竹の端材を燃やして、おくどさんでご飯を炊いたり、五右衛門風呂のお湯を沸かす当番でした。もちろん「火吹き竹」も竹製ですよ。火力の調整が必要だったから、常に火の番をしなくてはいけなくて、しんどかったなあ。「味噌摺り」も僕の役目で、それを毎日やらされるもんだから、今は味噌汁が嫌いです(笑)。

編：働き者のお子さんだったんですね。

大塚：いえいえ、いたずらっ子でしたよ。(中略)おかずやおやつはいつもタケノコ。茹でたタケノコが常に鍋の中にあってね。そこから取って、味付けもなしでポリポリ食べていた。タケノコばかり食べてたからか、いつも顔に吹き出物があったよ(笑)。(後略)

編：働き者のお子さんだったんですね。

大塚：いえいえ、いたずらっ子でしたよ。(中略)おかずやおやつはいつもタケノコ。茹でたタケノコが常に鍋の中にあってね。そこから取って、味付けもなしでポリポリ食べていた。タケノコばかり食べてたからか、いつも顔に吹き出物があったよ(笑)。(後略)

3. 第一回研究例会を開催しました（於 京都市産技研 10月31日）

本年度の研究例会は、他の4研究会と合同で開催し(株)ピハナコンサルティング代表取締役の岡本幸樹氏を講師としてお招きしました。同氏は、日本各地の伝統的な文化を知的財産として活用し、各産地の技術継承コンサルティング事業を展開されています。今回は、その中から NFT の技術を有効活用した「琉球びんがた NFT プロジェクト」をテーマにご講演いただき、京都工芸研究会から8名の会員が参加されました。

※琉球びんがた NFT プロジェクトの詳細
http://www.pihanaconsulting.co.jp/post_type_project/nft/

事務局より

◆2022年12月～2023年2月の主な予定
 1月20日 こうげい組体操 オンライン説明会
 月1～2回(適宜) 事業企画チームミーティング

